

山梨県地震防災訓練が実施されました

10月24日に、都留第一中学校グラウンドと、住吉球場の2カ所において、大規模な山梨県地震防災訓練が実施されました。

この防災訓練は、静岡県駿河湾付近を震源とするマグニチュード8.0の地震が発生し、山梨県では震度6弱を記録するなど、県内全域に被害が発生したとの想定で行われました。

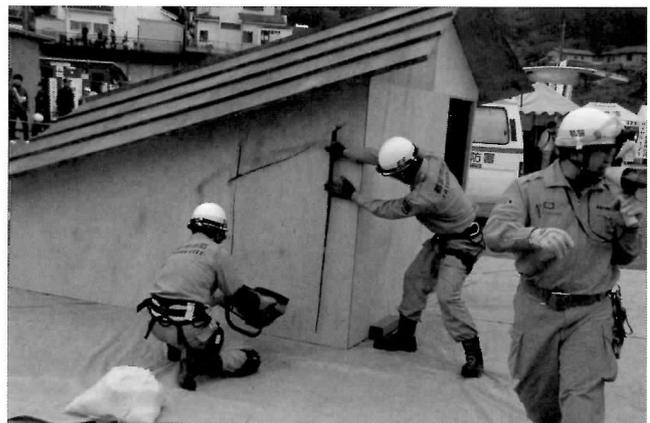
都留市として、初めて行った避難所運営訓練では、都留第一中学校の体育館を使い、三吉・開地地域の自主防災会の皆さんの参加のもと、実際に段ボールなどで避難生活を体験していただいたり、避難者にも避難所を運営していく上での役割を担当してもらったり、実際の避難生活を想定した訓練を行いました。

グラウンドでは、自衛隊や消防、警察などによる、ガレキや建物からの救出訓練、また、炊き出し訓練も行われました。

参加した方々は、想定していた災害時よりも、大変なことが多く、実際に災害が起きた際には、よく考えて行動しなくてはならないことが良く分かったと話していました。



■当日は、2機のヘリコプターが訓練に参加しました。写真は、「あかふじ」号です。



■消防による、半倒壊家屋からの救助訓練。非常に手早く救助を行いました。



■トリアージ訓練の様子です。トリアージとは、ケガの度合いに応じ、手当の優先順位を決めることを言います。ケガ人役のみなさんは、非常に迫真の演技で、実際の災害時の壮絶さを感じさせる訓練でした。

■ヘリコプターからの散水訓練です。山林火災の際に大きな効果を発揮します。



■避難所運営訓練の様子。自主防災会ごとに担当を決め、自主的に避難所を運営する訓練を行いました。